共喰い (2013)

メディア 映画

ジャンル ドラマ 文芸

製作国 日本

色彩 Color

時間 102分

初公開日 2013/09/07

公開情報 ビターズ・エンド

映倫 R15+

【キャッチコピー】

母さん、なんで僕を生んだのですか？
あの男の血をひく僕を――。

【解説】

第146回芥川賞に輝いた田中慎弥の同名小説を、「ヴァイブレータ」「戦争と一人の女」の荒井晴彦が脚色し、「EUREKA ユリイカ」「サッド ヴァケイション」の青山真治監督が映画化した文芸ドラマ。忌まわしき血の宿命に囚われた父と息子の相克を軸に、彼らと彼らを取り巻く女たちが織り成す濃密な人間模様を過激な性愛描写とともに綴る。主演は「仮面ライダーW」の菅田将暉、共演に木下美咲、篠原友希子、光石研、田中裕子。

昭和63年の夏、山口県下関市。父・円とその愛人・琴子と暮らす17歳の青年・遠馬。円にはセックスの時に暴力を振るう性癖があり、実の母・仁子はそれが耐えられずに、遠馬が生まれるとすぐに家を出ていった。そして今は、川一本隔てた魚屋で一人暮らしをしていた。やがて、遠馬は幼なじみの恋人・千種と何度も交わるうちに、嫌悪していたはずの父と同じ忌まわしき血が自分にも流れていることを思い知らされていくのだったが…。

【クレジット】

監督	青山真治	
プロデューサー	甲斐真樹	
アソシエイトプロデューサー	佐藤公美	
原作	田中慎弥	『共喰い』（集英社刊）
脚本	荒井晴彦	
撮影	今井孝博	
美術	清水剛	
衣裳	篠塚奈美	
編集	田巻源太	
音響	菊池信之	
音楽	山田勲生	
	青山真治	
照明	松本憲人	
ヘアメイク	田中マリ子	
助監督	吉田亮	
出演	菅田将暉	篠垣遠馬
	木下美咲	千種
	篠原友希子	琴子

岸部一徳	刑事
光石研	円
田中裕子	仁子
穴倉暁子	
淵上泰史	